

第3章 湘南モノレール

湘南江の島(12:22)～目白山(12:42)～片瀬山(12:52)～西鎌倉(13:19)～

湘南深沢(13:51)～湘南町屋(14:02)～富士見町(14:20)～大船(14:37)

第 257 回のウォーキングは 2009 年 6 月 13 日（土）、梅雨時期の晴れ間を拭って湘南モノレール線に挑戦する。すなわち、湘南江の島から大船までの 6.6Km の踏破である。5 月 5 日以来振りの歩きとなる。最近はジョギングも少なくとも 1 週間に 3 回することもあり、鉄道歩きへの頻度が少なくなっている。昨日までは、自費出版の原稿の整備の関係で、横浜＝藤沢の再歩きを考えていたが、昨日の飲み会の疲れもあり、急遽本日のコースに変更する。写真の整備（横浜・戸塚・大船・藤沢）は電車で移動して行なうことにする。

本日の歩きの段取りか下記の通り。

- ① 自宅からさがみ野駅まで歩く。
- ② 相鉄線でさがみ野から横浜まで移動。
- ③ JR 線で大船まで移動（戸塚途中下車）。
- ④ 大船から湘南モノレール線で湘南江の島まで移動。
- ⑤ 湘南江の島から大船まで鉄道つたい歩き。
- ⑥ JR 線で藤沢まで移動。
- ⑦ 小田急線で南林間まで移動。
- ⑧ 南林間から自宅まで歩く。
- ⑨



横浜駅



戸塚駅



大船駅

9時半過ぎ自宅を出る。横浜駅には11時、戸塚駅には11時25分、大船駅には11時50分到着。12時、湘南モノレールの乗車券（300円）を購入し、湘南江の島まで移動する。車両はグレーの赤線のある3両編成（単線）であった。ダイヤは7から8分間隔で運転されていた。このモノレールはつり電車形式であったので、それ故モノレールからの眺めも最高であった。小高い丘をぬぐってモノレールは続いていた。途中トンネル（湘南深沢駅近郊）もあった。成志が見ると喜ぶような光景が続いていた。モノレールからの窓からは相当歩きに手間を要する感じであった。実際にはモノレール下に道路は続いていたが。乗客も結構乗っていた。15分位で終点の湘南江の島（12時22分）に到着する。



湘南江の島駅

湘南江の島駅近郊でもトンネルがあり、モノレール線が見えないため、方向性を見誤らないよう神経を費やす。12時28分、日蓮宗の常立寺前を通過。モノレール線が見えないため地図確認後、2名程の通行人の方にお尋ねし、目白山下駅（12時42分）を教えてもらう。この駅は坂を上った先にあった。途中、帰宅している女子高校生（中学生）の集団と対面する。



目白山下駅

12時45分頃、上り下りのモノレールと対面する。モノレール線はトンネル部分を除き道路に沿って続いていた。小高い丘の先に片瀬山駅（12時52分）があった。湘南白百合学園の看板もあった。先程の女子生徒の学校かも知れない。少し行った先の山家という手打ち蕎麦屋で少し遅い昼食（12時55分）を摂る。座敷では十数名のグループが宴会をしていた。その他に4名のお客がいた。お品書は900円のもり蕎麦が最低で、ざる1,000円、おろし1,100円と続く。大半の蕎麦が1,500～2,000円位の値段であった。おそらくこの店は由緒ある老舗であろう。健康も考慮し1,100円のおろし蕎麦注文する。先客より早く出てくる。非常に美味しい蕎麦であった。あつという間にたいたげる。13時10分この店をあとにする。



片瀬山駅



山家



西鎌倉駅



深沢駅

13 時 19 分、西鎌倉駅に到着。駅名は赤字の字体であった。頭上にはジュンタンのような鉄の金網がモノレール線に沿ってあった。ここからモノレールはトンネルに入るため、山道の歩きとなる。駅間隔は 500m から 1 Km 位であるが、西鎌倉から湘南深沢間のみ 2.1Km と長めであった。山を越えると賑やかな深沢の町並みが続いていた。10 名位のイベントの市民グループと対面する。かちかちと音を立てながら進んでいた。高台からモノレール線に沿った風景はとてもよかった。



湘南町屋駅 富士見町駅

13 時 51 分、湘南町屋駅に到着。ひと丘越えて、14 時 2 分湘南町屋駅に到着する。この辺りから大船の町のイメージとなる。14 時 20 分、富士見町駅に到着する。モノレール線に沿った道路は、横須賀線越え近郊で途切れたため、迂回し陸橋を經由して横須賀線を越える。14 時 37 分、大船駅に到着。藤沢経由で自宅に向かう。JR 藤沢駅には、1989 年 7 月 1 日から起算して本年で東海道本線 120 周年の看板（新橋＝神戸）があった。自宅には 16 時 3 分到着。本日の万歩計は 27,487 歩だった。



大船駅 藤沢駅